

— 全農協労連・第90回メーデーのとりくみ —

2019年4月5～6日 第752回中央執行委員会決定

1. メーデーの歴史

メーデーは、1886年（明治19年）5月1日、アメリカのシカゴで労働者が「8時間労働制」を求めてゼネストで立ち上がったのを起源としています。

日本では、1905年からメーデーを記念した茶話会や街頭演説などが行われてきましたが、労働団体が実施したのは1920年（この年は5月2日。翌年からは5月1日）、8時間労働制や失業の防止、最低賃金法の制定などを掲げて上野公園で行われたのが始まりです。その後第二次世界大戦中の10年間は禁止されましたが、1946年に再開されました。1920年から数えて、今回で90回目になります。

2. 第90回メーデーの大切な意義

(1) いま各単組で奮闘している「2019年春闘」において、最終盤を見据えあらためて仲間の団結を固め合い、最後まであきらめず、たたかうかまえをつくり上げていきます。そして、各地で開催される「メーデー集会」を通じて、他産業の仲間とともに団結を強化していくことがとても重要です。

とりわけ、労働者全体の実質賃金が引き下げられ、また、社会保障の連続改悪、雇用の流動政策によって「格差と貧困」は拡大し続けている中、大幅賃上げを勝ち取ることは生活を維持する点でも譲れない要求課題です。その上、安倍政権による消費税10%への増税は、私たちの暮らしばかりではなく、地域経済にとっても大きな影響を与えるものです。こうした運動課題に対して、職場と地域で運動と世論を広げていくために

(2) 第90回メーデーは、安倍政権による「農業・農協改革」を通じた食料・農業・地域つぶし、生産性向上のための「働き方改革」による新たな労働法制改悪・雇用破壊、「2020年の憲法改憲」をはじめとした戦争できる国づくりなど、様々な課題が山積するもとで開催されます。

各単組における賃上げをはじめ諸要求の実現に向けて、5月連休前の決着をめざすとともに、すべての労働者の暮らしと権利・雇用を守るために、命と暮らしにかかわる要求課題に対して、労働者の団結を強化していくことが求められています。

そのために、家族農業を土台にした持続可能な社会の実現、労働法制改悪阻止、安倍9条改憲ノーを掲げ、第90回メーデーに結集します。

各地で開催される「メーデー集会」への参加を全ての仲間呼びかけ、仲間とともに参加することを呼びかけます。

3. 全単組がメーデーに結集しよう

(1) 食料・農業・地域を破壊する「農業つぶし・農協解体」反対を掲げて参加しよう

TPP11をはじめ日欧EPAの強行、さらには、日米FTAの締結に向けた交渉が狙われるなど、更なる輸入自由化・規制緩和に向けた圧力が強まることは必至です。

一方、「主要農作物種子法の廃止」に対する自治体独自の条例の制定をはじめ、「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める運動が大きく広がっています。

また、家族農業を土台にした持続可能な社会の実現をめざそうと、国連は世界各国に「国連家

族農業の10年」を呼びかけ、農政の転換を求めています。

私たち農協・農業関連団体に働く労働者は、家族的農業者・地域農業を支え、食の安心・安全、安定した食料供給の土台を支えています。その根底を脅かす安倍政権の「農業つぶし・農協解体」攻撃を許さず、地域に運動を広げていくために、各単組・支部分会は、食料・農業・地域を守るために各地のメーデーに結集し、「農業・農協つぶし」反対を広く訴えていきましょう。

そして、働き続けられる職場と暮らし続けられる地域をめざし「8時間働けば人間らしい生活ができる社会の実現」、「格差と貧困の解消」に向けて、他産業で働く仲間と団結し、地域共闘を広げるよう取り組んでいきましょう。

(2) 職場から多くの仲間と参加し、世界各国の労働者とメーデーの歴史をつなごう

メーデー集会への参加に関わって、特別休暇などがある単組では、その権利を行使し、また、特別休暇が無い単組においても有給休暇を取るなど、各地のメーデー集会への参加を位置づけ、多くの仲間と参加するようにします。

本部は、中央支部の仲間とともに、在京農林漁業団体労働組合メーデー実行委員会に参加し、国民春闘共闘委員会に結集し、中央メーデーの成功に向けて奮闘します。

そして、世界で同時に行われる「メーデー」に結集する仲間とも連帯し、労働者の祭典の歴史をつないでいきます。

4. 全農協労連・第90回メーデースローガン

(1) 基本スローガン

「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」

(2) 全農協労連・メーデースローガン

- ① 8時間働いて普通に暮らせる賃金・働くルールの確立。
- ② 許すな！裁量労働制の拡大、高度プロフェッショナル制度。
- ③ なくせ貧困と格差 大幅賃上げ・底上げで景気回復、地域活性化、めざせ最賃1,500円、全国一律最賃制の実現。
- ④ 安倍9条改憲反対、戦争法廃止！市民と野党の共闘で安倍政権退陣を。
- ⑤ 安部政権による「農業・農協改革」反対、日米FTAなど自由貿易交渉反対、安心・安全な国内食料と農林漁業を守れ。国民の命と暮らし、雇用と地域社会を守れ。
- ⑥ あらゆる差別・ハラスメントの撤廃を。
- ⑦ 消費税10%増税の中止、年金・医療・介護など社会保障制度の拡充。
- ⑧ 被災者の生活と生業を支える復興、原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換。
- ⑨ 軍事費削って、暮らしと福祉・教育・防災にまわせ。
- ⑩ STOP！戦争する国づくり、辺野古の新基地建設反対、オスプレイの全国配備撤回、核兵器禁止条約の批准を。
- ⑪ 国民本位の政治、国会議員定数削減反対、民意が反映できる選挙制度の実現。
- ⑫ 国民の税金である政党助成金の廃止、政治買収につながる企業団体献金の廃止。

以上